

2021/7~2021/9 にっしん景況レポート

Vol.
22
2021/10



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2021年7~9月の景気の現状と2021年10~12月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2021年7~9月の実績(9月については予想)
2021年10~12月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の362社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2021年7~9月
前期 = 2021年4~6月
前年同期 = 2020年7~9月
来期 = 2021年10~12月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	50	22	17	25	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	362	91	57	40	73	54	47

●今期の景況

今期(2021年7月～9月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲21.8となり、前期(2021年4月～6月)に比べ3.9ポイント改善した。売上額判断D.I.は▲9.1となり、前期と比べて3.6ポイント改善した。収益判断D.I.は▲16.3となり、前期と比べて0.6ポイント低下した。

国内では、新型コロナウイルス感染拡大による第5波の影響により緊急事態宣言の対象地域が拡大し、景気低迷要因となった。9月末をもって緊急事態宣言は解除となり、今後はワクチン接種の進展により感染が抑え込まれていけば、経済が正常化に向かうものと思われる。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲26.0となり、前期実績より6.4ポイント悪化している。

●来期の見通し

来期(2021年10月～12月)の予想業況判断D.I.は▲24.0と今期実績から低下する見通しとなった。

ワクチン接種の進展や新政権による経済政策期待はあるものの、具体策はこれからであり、冬場における感染再拡大による第6波到来の懸念もあり、見通しの改善までには至っていない。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	5	49	175	97	36	362
回答割合	1.4%	13.5%	48.3%	26.8%	9.9%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 14.917\% - 36.740\% \div -21.8$$

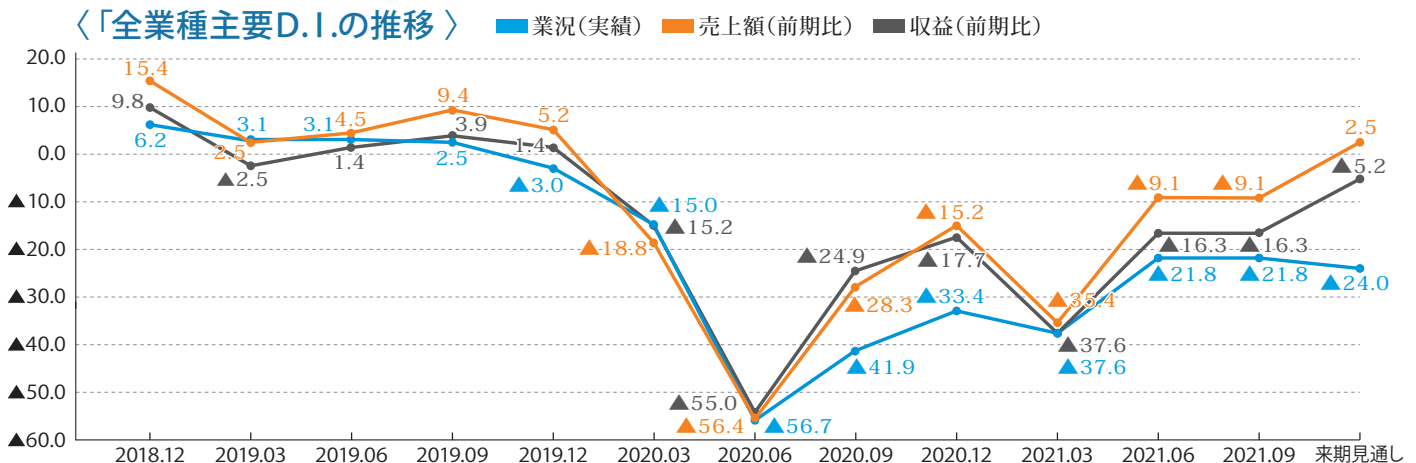
〈2021年7～9月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲18.3	▲20.0	▲36.4	▲17.6	▲28.0	▲10.5	10.0
三木地区	0.0	0.0	9.1	▲50.0	12.5	▲11.1	50.0
神戸地区	▲33.1	▲20.8	▲37.5	▲41.2	▲55.0	▲23.1	▲8.7
全地区	▲21.8	▲16.5	▲28.1	▲32.5	▲38.4	▲16.7	4.3

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲25.7	▲21.8	▲24.0	販売価格(前期比)	3.9	7.2	6.4
売上額(前期比)	▲12.7	▲9.1	2.5	仕入価格(前期比)	35.6	45.0	35.4
売上額(前年同期比)	▲3.6	▲3.9	—	資金繰り(楽-苦)	▲2.8	▲1.4	▲3.3
収益(前期比)	▲15.7	▲16.3	▲5.2	人手不足(過剰-不足)	▲19.6	▲26.0	▲30.1
収益(前年同期比)	▲6.1	▲8.3	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲16.5となり、前期実績と比して3.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲4.4、収益判断D.I.は▲15.4となり、前期実績と比して売上額は1.2ポイント改善し、収益は5.4ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は6.6、収益判断D.I.の前年同期比は1.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲23.1となり、前期実績から3.1ポイント悪化しており、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲14.3と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は8.8、予想収益判断D.I.は0.0となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 20.0	▲ 16.5	▲ 14.3	販売価格(前期比)	1.1	5.5	3.3
売上額(前期比)	▲ 5.6	▲ 4.4	8.8	仕入価格(前期比)	54.4	54.9	40.7
売上額(前年同期比)	▲ 0.0	6.6	—	資金繰り(楽-苦)	4.4	0.0	▲ 2.2
収益(前期比)	▲ 10.0	▲ 15.4	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 25.3
収益(前年同期比)	▲ 3.3	1.1	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲28.1となり、前期実績と比して変わらなかった。

収益面では、売上額判断D.I.は▲3.5、収益判断D.I.は▲14.0となり、前期実績と比してそれぞれ3.5ポイント、7.1ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲10.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲14.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲3.5となり、前期実績から5.3ポイント悪化しており、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲35.1と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲1.8、予想収益判断D.I.は▲17.5となり、今期実績から売上額は改善し収益は低下する見通しとなっている。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 28.1	▲ 28.1	▲ 35.1	販売価格(前期比)	8.8	21.1	14.0
売上額(前期比)	▲ 7.0	▲ 3.5	▲ 1.8	仕入価格(前期比)	28.1	42.1	31.6
売上額(前年同期比)	▲ 1.8	▲ 10.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 1.8	0.0	0.0
収益(前期比)	▲ 21.1	▲ 14.0	▲ 17.5	人手不足(過剰-不足)	1.8	▲ 3.5	▲ 7.0
収益(前年同期比)	▲ 10.5	▲ 14.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲32.5となり、前期実績と比して7.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は2.5、収益判断D.I.は▲10.0となり、前期実績と比してそれぞれ45.0ポイント、30.0ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲10.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲10.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲12.5となり、前期実績から20.0ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲37.5と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は17.5、予想収益判断D.I.は12.5となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲40.0	▲32.5	▲37.5	販売価格(前期比)	5.0	22.5	20.0
売上額(前期比)	▲42.5	2.5	17.5	仕入価格(前期比)	17.5	30.0	27.5
売上額(前年同期比)	▲12.5	▲10.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲22.5	▲12.5	▲12.5
収益(前期比)	▲40.0	▲10.0	12.5	人手不足(過剰-不足)	▲32.5	▲12.5	▲20.0
収益(前年同期比)	▲17.5	▲10.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲38.4となり、前期実績と比して8.2ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲26.0、収益判断D.I.は▲28.8となり、前期実績と比してそれぞれ1.3ポイント、5.5ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲20.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲17.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲45.2となり、前期実績よりも27.4ポイント悪化しており、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲32.9と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲5.5、予想収益判断D.I.は▲6.8となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲46.6	▲38.4	▲32.9	販売価格(前期比)	1.4	▲2.7	▲4.1
売上額(前期比)	▲24.7	▲26.0	▲5.5	仕入価格(前期比)	15.1	26.0	15.1
売上額(前年同期比)	▲11.0	▲20.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲17.8	▲12.3	▲16.4
収益(前期比)	▲23.3	▲28.8	▲6.8	人手不足(過剰-不足)	▲17.8	▲45.2	▲47.9
収益(前年同期比)	▲9.6	▲17.8	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲16.7となり、前期実績と比して3.3ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.が▲14.8、収益判断D.I.が▲20.4となり、前期実績と比してそれぞれ1.6ポイント、6.9ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲9.3、収益判断D.I.の前年同期比は▲20.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲50.0となり、前期実績から11.8ポイント悪化しており、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲24.1と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲7.4、予想収益判断D.I.は▲18.5となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈 建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲20.0	▲16.7	▲24.1	販売価格(前期比)	▲7.3	▲11.1	▲3.7
売上額(前期比)	▲16.4	▲14.8	▲7.4	仕入価格(前期比)	50.9	68.5	57.4
売上額(前年同期比)	▲23.6	▲9.3	—	資金繰り(楽-苦)	9.1	11.1	9.3
収益(前期比)	▲27.3	▲20.4	▲18.5	人手不足(過剰-不足)	▲38.2	▲50.0	▲59.3
収益(前年同期比)	▲21.8	▲20.4	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は4.3となり、前期実績と比して変わらなかった。

収益面では、売上額判断D.I.は▲2.1、収益判断D.I.は▲2.1となり、前期実績と比してそれぞれ17.0ポイント、27.6ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は21.3、収益判断D.I.の前年同期比は10.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲12.8となり、前期実績から2.1ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

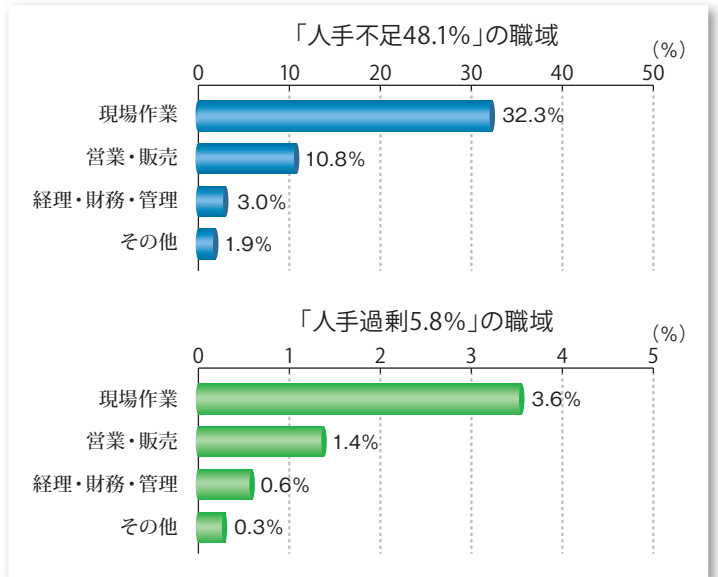
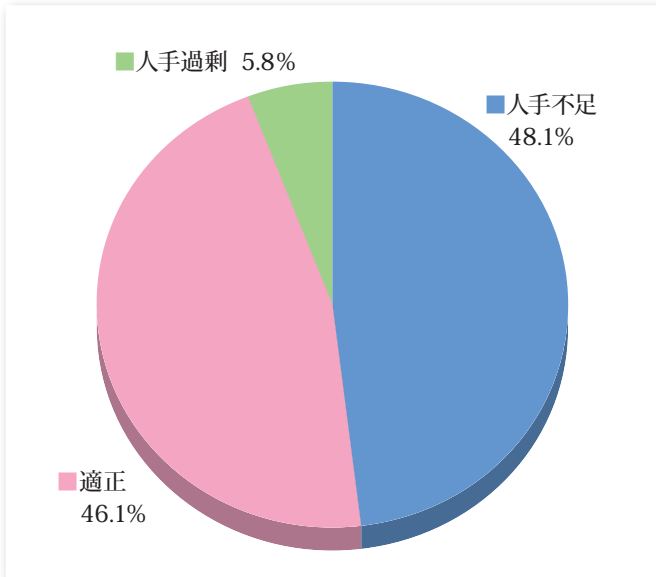
来期の予想業況判断D.I.は▲4.3と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は6.4、予想収益判断D.I.は2.1となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈 不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	4.3	4.3	▲4.3	販売価格(前期比)	19.1	17.0	19.1
売上額(前期比)	14.9	▲2.1	6.4	仕入価格(前期比)	38.3	44.7	42.6
売上額(前年同期比)	29.8	21.3	—	資金繰り(楽-苦)	8.5	6.4	4.3
収益(前期比)	25.5	▲2.1	2.1	人手不足(過剰-不足)	▲14.9	▲12.8	▲14.9
収益(前年同期比)	27.7	10.6	—				

特別調査:「中小企業の雇用環境について」

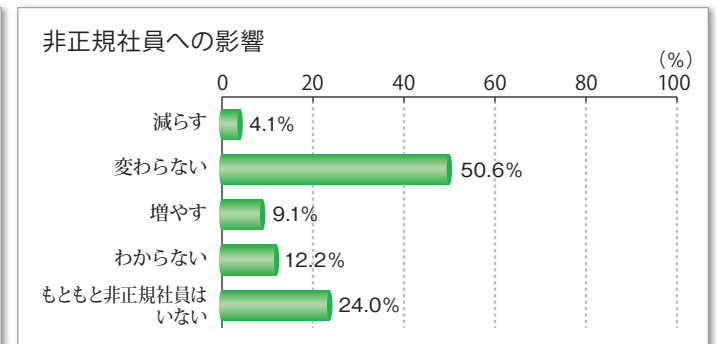
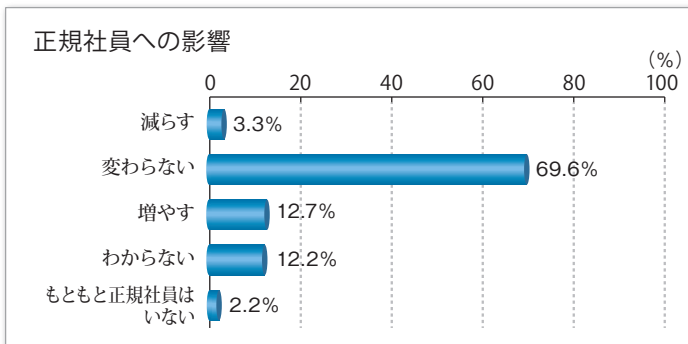
◎～人手の状況をどのように認識していますか。～



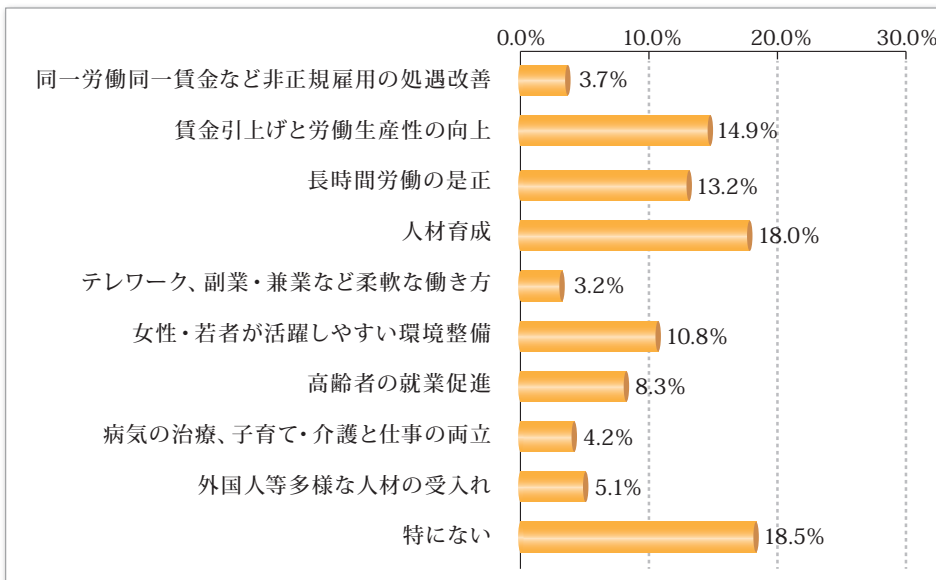
人手の状況の認識については、「人手不足(48.1%)」が最も多く、次いで「適正(46.1%)」、「人手過剰(5.8%)」となった。

◎～最低賃金の引上げが雇用に与える影響はありますか。～

最低賃金の引上げが雇用に与える影響については、「減らす(正規社員3.3%・非正規社員4.1%)」、「変わらない(正規社員69.6%・非正規社員50.6%)」、「増やす(正規社員12.7%・非正規社員9.1%)」、「わからない(正規社員12.2%・非正規社員12.2%)」、「もともといない(正規社員2.2%・非正規社員24.0%)」となった。

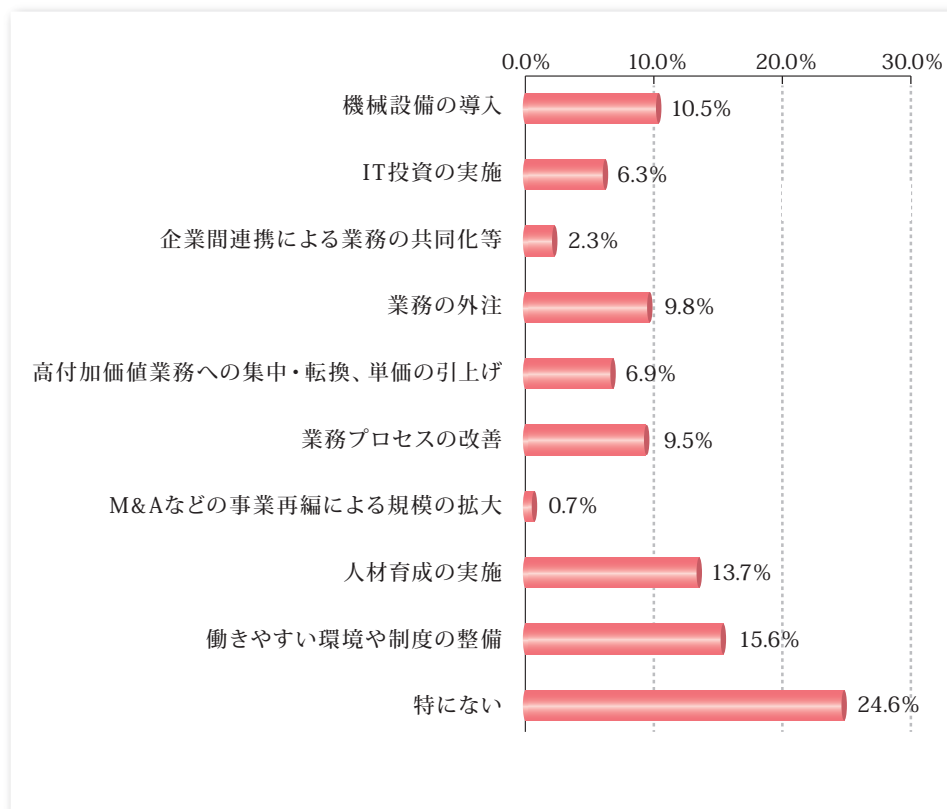


◎～職場環境改善に向けて実施していることはありますか。～



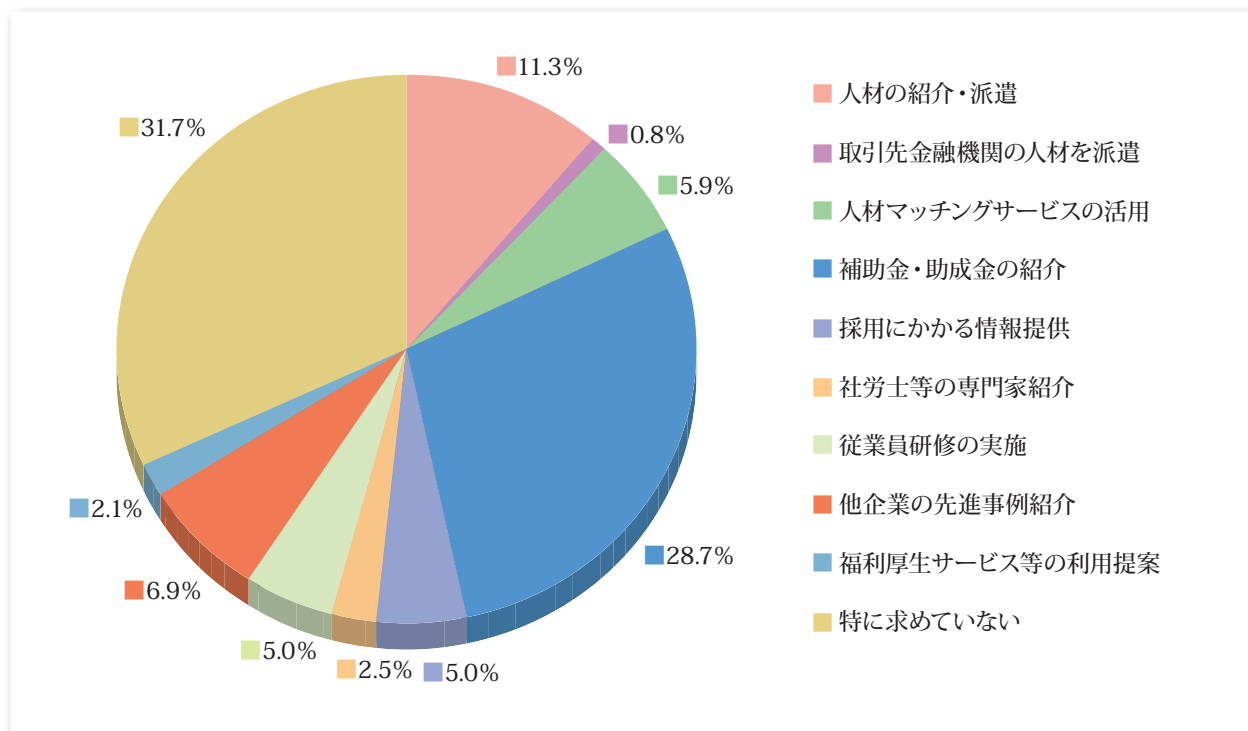
職場環境改善に向けて実施していることについては「特にない(18.5%)」が最も多く、次いで「人材育成(18.0%)」、「賃金引上げと労働生産性の向上(14.9%)」、「長時間労働の是正(13.2%)」、「女性・若者が活躍しやすい環境整備(10.8%)」、「高齢者の就業促進(8.3%)」、「外国人等多様な人材の受入れ(5.1%)」、「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立(4.2%)」、「同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善(3.7%)」、「テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方(3.2%)」の順となった。

○ ～生産性向上に向けた取組みをしていますか。～



生産性向上に向けた取組みについては「特にない(24.6%)」が最も多く、次いで「働しやすい環境や制度の整備(15.6%)」、「人材育成の実施(13.7%)」、「機械設備の導入(10.5%)」、「業務の外注(9.8%)」、「業務プロセスの改善(9.5%)」、「高付加価値業務への集中・転換、単価の引上げ(6.9%)」、「IT投資の実施(6.3%)」、「企業間連携による業務の共同化等(2.3%)」、「M&Aなどの事業再編による規模の拡大(0.7%)」の順となった。

○ ～人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めること。～



人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることについては「特にない(31.7%)」が最も多く、次いで「補助金・助成金の紹介(28.7%)」、「人材の紹介・派遣(11.3%)」、「他企業の先進事例紹介(6.9%)」、「人材マッチングサービスの活用(5.9%)」、「採用にかかる情報提供(5.0%)」、「従業員研修の実施(5.0%)」、「社労士等の専門家紹介(2.5%)」、「福利厚生サービス等の利用提案(2.1%)」、「取引先金融機関の人材を派遣(0.8%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、新型コロナウイルス感染状況により中止又は延期させていただきます場合があります。

また、募集状況により受付を終了している場合があります。

●「中小企業・小規模事業者のためのSNS入門セミナー」を実施します！

本セミナーでは、SNS活用の基本や活用事例について、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフがわかりやすく説明します。

- 開催日時・会場：①令和3年11月5日(金)14:00～16:00 日新信用金庫 小野支店
②令和3年11月8日(金)14:00～16:00 日新信用金庫 本店8階
- 参加費：無料 ●定員：各日程10名

●「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和3年11月13日(土)13:00～17:00
②令和3年12月11日(土)13:00～17:00
③令和4年1月8日(土)13:00～17:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室
- 参加費：無料 ●定員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和3年11月26日(金)13:00～17:15 日新信用金庫 小野支店
②令和3年12月10日(金)13:00～17:15 日新信用金庫 六甲支店
③令和4年1月21日(金)13:00～17:15 日新信用金庫 宝殿支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組75分)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>




このたびは、第22回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで